

2010年9月 パリ発

創立200周年 プジョーは明日の移動性の創出に向けて攻勢を強化

1月にスタイル、製品、サービス面で新たな攻勢をかけ、ブランドをリニューアルしたプジョーは、これからパリモーターショーを控え、いよいよ508を発表します。この新しい大型ツーリングカーは、プジョーブランドの力強いデザインと感性を表現しており、“移動”と“環境”という挑戦に対するプジョーの明確な回答であり、移動性創出に向けた新たなアプローチ、一モダンで効率的、特徴的である一ことを示しています。

- iOn : 100% 電気自動車
- 3008ハイブリッド4 : 世界初のディーゼルハイブリッド車
- アフターサービスの提供
- プジョースクーター、自転車

ワールドプレミアとして、世界デビューを果たすプジョー508は、大型ツーリングカーセグメントにおいてプジョーブランドの新しいデザインのスタイルを体現しています。

プジョー508の力強いデザインや感性は、以下の要素と融合しています。

- 新世代「e-HDi」と「HYbrid4」テクノロジー
- スリムで威厳があり、ダイナミックな美貌
- すでに高い評価を得ている、高品質と快適な室内空間
- 長期にわたりブランドが蓄積してきた、専門技術に基づく独自のドライビング体験

508は、今後海外へも攻勢をかけていきます。508の両モデル（サルーンとSW）とも2011年初頭から、まずは欧州で販売します。



初の新世代都市型100%電気自動車である「iOn」は、法人及び個人の双方をターゲットにしています。静粛性に優れており実用的、かつ元気のある車として、優れた「容量/サイズ」と比類なきハンドリングの恩恵を受けています。本年末より1か月500ユーロ以下で利用可能なiOnユーザーは、各種サポートサービス（アフターサービス&プジョーならではのサービス、“Peugeot Connect”及び、“Mu by Peugeot”）もご利用いただけます。

プジョー3008ハイブリッド4 :

世界初のディーゼルハイブリッド車の発売により、プジョーは環境効率と新しいドライビング体験に関して新たな提案を行います。

3008クロスオーバーでは、ディーゼルエンジンのハイブリッド化（2.0リットル FAP 120 kW / 163 bhp）と最大容量27 kW（37 bhp）の電気モーターを組み合わせ、以下を実現しました。

- 四輪駆動
- 最大出力200 bhp
- ZEVモード（ゼロエミッション車）
- 3.8リットル / 100 km

高水準の仕様に加え、CO₂排出量も内燃エンジン車に比べ35%と大幅に少ない99 g/kmを実現、お客様にとってもそのメリットは大きいと期待されています。

“Mu by Peugeot”

プジョー車、またはスクーターを取り扱うディーラーを通して、通常車だけでなくスクーターや自転車、電動自転車、さらには部品（チャイルドシート、ルーフボックス等）を誰でも借りることができるサービスです。このような移動性を快適にする新しい事業は、2010年からスタートしました。

パリで先陣を切り、ベルリン、マドリッド、ミラノが続き、さらに最近ではアントワープ、ブリストル、ブリュッセル、ロンドンが加わるなど、“Mu”は瞬く間に欧州7都市に広がっています。パリモーターショーの開催日に合わせて、“Mu”ではオンラインまたはiPhoneでの予約サービスも始まります。

Peugeot Scooters : 電気がもたらす新しいセンセーション

欧州で4番目に大きいメーカーであり、かつ世界最古のモーター付き二輪車のグローバルブランド、そして、電動スクーターのパイオニアでもあるPeugeot Scooters から、新しい電動スクーター“e-Vivacity”をお届けします。発売は2011年初頭を予定しています。